

みんなの「なんな一の?」を伝えるこども記者のための新聞(毎月1回発行)

信毎こども記者ニュース

こども記者クラブ(信濃毎日新聞地域活動部) 〒380-8546 長野市南県町657
TEL 026-236-3110 FAX 026-236-3193 電子メール t-chiiki@shinmai.co.jp

no.43

「たんけん 信濃のわざ 建具編」

講師 横田栄一さん



「いやになつたことはいっぱいある。好きな仕事だからうまく作るために苦しいと思つても、やりながら楽しんでいく。楽しいってうれしいんだよね。」

2012年

師匠たちの

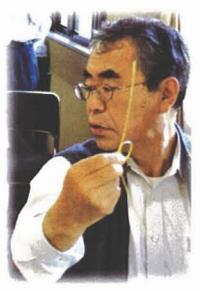
名言集

苦しくても、むずかしくても、楽しい!



「たんけん 信濃のわざ 水引編」

講師 大橋 功夫さん



日本人は、「結び」という儀式を大事にしてきました。おくり物に水引をかけて相手へのお祝いやお見舞いの気持ちを結びこむ。自分の心を伝える、そういう気持ちを大切にしています。

「たんけん 信濃のわざ ～時を学ぼう」

講師 竹岡一男さん



一流の選手は、ハングリ―精神が強く、自分をよきびしい道に追いつんでいく。卓球の福原愛選手も中国へ行つてもまね、がんばつてきたから今がある。今いる中だけにならないよう、もう1歩、そういう所へ入っていくのが大事。

「たんけん 信濃のわざ 松本民芸家具編」

講師 池田素民さん



木は人間と同じで、育つかん境によって、木目もかたさも、ねじれ方もみんなちがう。それを生かすために、できるだけ人間の手に作ります。家具にした後も少しづつ年をとり、表情が優しくなつていきます。

「バイオリンのお医者さんでどんな仕事?」

講師 中沢宗幸さん



あぶないからと、いろんなことにふれる機会がはっている気がします。バイオリン製作にも通じる小刀やナイフも、使ってみなければ、何もおぼえられない。自分のえんぴつづら、けずれるといいですね。

「脚本家にせまる! シナリオ作りにふれよう」

講師 小林雄次さん



いつもちがうシナリオのこと、新しいことをやってみよう挑戦していきましょう。成長しない気がするので、わくからはみ出したいですね。

こども新聞「音楽感じるままに」登場

島崎直也さん(なやまん)



毎日ワクワクに変えるというコンセプトで、いろんな活動をしています。食べるものがおいしいかまじいのがおいしいか、音楽が心地良いか、音でなく感じ方は人たちが違って当たり前。自分で自由に感じたいですね。

こどもスクール「縄文の夏祭り」

メイン講師 苅谷俊介さん



みんなは、未来はどんな未来がいいですか? 汚れた大気で黒い雨が降る未来がいいとは思わないよね。空気はきれいで、緑は豊かで、川の水もきれいな方がいい。そうした世界はちゃんと、縄文時代という過去にありました。人間社会の進み方が「ちがうよ」と思つたとき、「縄文時代はどうだったかな?」と考えることで、みんなが生きている世界がいい世界になっていく。だから今、縄文を学ぶのです。

【2012年のこども記者クラブの活動】

2月26日	「たんけん 信濃のわざ 建具編」	長野市
3月26日	「たんけん 信濃のわざ ～時を学ぼう」	塩尻市
5月12日	「たんけん 信濃のわざ 水引編」	飯田市
6月16日	「たんけん 信濃のわざ 松本民芸家具編」	松本市
7月21日	第9回信毎こどもスクール「縄文の夏祭り」	茅野市
8月10日	ハロー! ジャカルタ まんが教室	長野市
9月9日	バイオリンのお医者さんでどんな仕事?	長野市
10月6日	脚本家にせまる! シナリオ作りにふれよう	上田市